

FDKグループの成長戦略

- ブロードバンドインターネットにおけるキーデバイスサプライヤーを目指して -

FDKグループは、世界規模でのIT不況と市場構造の急激な変化に対応し得る企業体質を構築すべく、昨年9月21日にFDKグループの目指すべき方向と事業構造改革の施策を公表いたしました。それにもとづき2001年度下半期は、フェライト事業の事業統括機能を含めた国内製造拠点の中国へのシフトと、特別転進支援制度等による人員の削減を中心とした固定費の削減および効率化の推進を中心に個別の施策を実行しております。

そこで、将来の成長に向けた中長期的な方向付けを再度明確にし、現在実施中の施策に加えて、市況の回復を確実にキャッチアップし、安定した経営基盤を構築するための施策を以下の通り実行いたします。

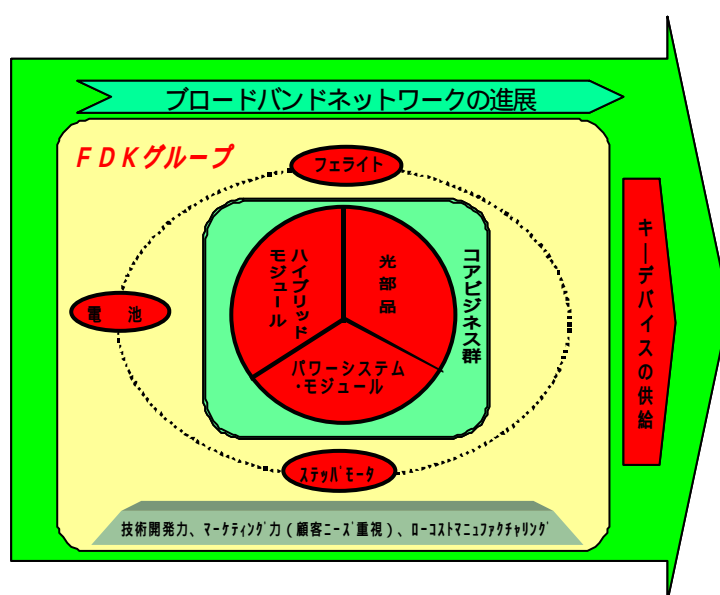
1. FDKグループの成長に向けた方向付け

FDKグループはブロードバンドインターネットの先端分野におけるキーデバイスサプライヤーとしての地位を確立します。

- ブロードバンドインターネット関連製品を中心とした成長分野への経営資源の集中
- 技術の動向と顧客ニーズを的確に捉えた提案型ビジネスの展開、顧客満足度の向上
- グループの連携強化や第三者とのアライアンスによる事業基盤の強化と効率化推進



ブロードバンドインターネットにおけるキーデバイスとしてその進展とともに高い成長が見込まれる製品をコアビジネス群として位置付けるとともに、それを周辺から支える電池やフェライト事業等の成熟した市場を持つ製品との連携により安定した事業構造を構築する。



2. 戦略実現のための施策

(1) コアビジネス群の再編成

ブロードバンドインターネット分野の中核を担う製品をコアビジネス群として位置付け、以下の3分野に再編成する。

光デバイス
ハイブリッドモジュール
パワーシステム・モジュール

(2) 光受動部品ビジネスの強化

光ネットワーク分野は長距離基幹幹線系からメトロポリタン、アクセス系へとシフトしながら今後も高い成長が見込まれる。そのため、光デバイス（光受動部品）ビジネスを最重点課題としてその強化に取り組み光受動部品のトップ企業を目指す。

富士通および富士通グループ各社との連携強化
製品開発体制の見直し、強化

(3) いわき電子㈱の合併

コアビジネス群を再編成し、戦略実現のために最も効率的な体制を構築するため、100%子会社であるいわき電子㈱を合併する。

合併期日… 2002年4月1日

(4) マーケティング力および製品開発力の強化

顧客ニーズを的確に捉えた製品開発を実現するための組織、運営体制の見直し
欧米および中国の販売体制強化

(5) 成熟製品群の合理化推進、事業基盤の強化

<フェライト>

中国（上海FDK）を中心とした事業体制を確立（2001年下期中）するとともに、技術の優位性を武器に中国国内販売を強化する。

<電池>

ソニー㈱殿との協業体制の推進、インドネシア製造拠点の活用、国内販売体制の強化を軸として事業体制の強化を図る。

<ステッパモータ>

従来からの柱であるOA機器用に加え、車載用の戦列化を強力に推進し、厦門FDK(中国)、FDK(THAILAND)Co.,Ltd.(タイ)の2拠点で安定した成長を目指す。

以上